温室効果ガス排出削減計画

	$(\cup \alpha)^{*}$	J (1	は名称)	住	(法人にあっては主たる事業所の所在地)	
名 株式会	会社滝	澤鉄	工所		〒 701-0164 岡山市北区撫川983	
	, HP HH	<i>h</i>	LVK L N Lp	Ŋ	河口11141 21 21 3 3 3 3 3 3 3	
	,	_	機械加工部			
主たる業	種った	う 類 ード	26 業種名:生産用機械	器具製造業		
			機械の製造販売 資本金:2 16, 189百万円(平成29年3月		従業員数:330人(平成29年3月末現在)	
	番号		工場等の名称		所 在 地	
	1	本			岡山市北区撫川983	
県内の	2				倉敷市下庄268	
主な	3	玉	 島工場		倉敷市玉島1-15-33	
工場等						
特定事業	: 坐 「~	1 (1) ½	然料等原油換算1,500kℓ以上 □	(2)バス・トラック	Ⅰ /100台、タクシー250台以上 □ ③c0。換算3,000t	CI F
の該当要			工場等の数 3			3)
			2/// 1/ 1/ 2/ 3//	171		1/
計画期間	間		平成 29 年度	\sim	平成 33 年度 (5 箇年)	
削減目標		ずれ		目標削減		未満
H1109X II 1	ボーを	選択	☑ 原単位基準	5. 0	% 区分 〇	
温室効果な	i ス	- Z	基準年度(平成 28 年度)		目標年度(平成 33 年度)	
排出量					日保平及(平成 33 平及)	
			4,800	t CO ₂	5,552 t CO	
	番	子子	4,800 工場等の名称	t CO ₂		2
		子 ①	,	t CO ₂	5,552 t CO	2 量
 其淮			工場等の名称	t CO ₂	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出	2 量 2
	の	1	工場等の名称 本社工場	t CO ₂	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO	2 量 2 2
主な工場	の 等	1 2	工場等の名称 本社工場 下庄工場	t CO ₂	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO	2 2 2 2
主な工場	の 等	1 2	工場等の名称 本社工場 下庄工場	t CO ₂	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO	2 量 2 2 2
主な工場	の 等	1 2	工場等の名称 本社工場 下庄工場	t CO ₂	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO	2 2 2 2 2
主な工場の排出量	の 等	1 2 3	工場等の名称 本社工場 下庄工場 玉島工場		5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO t CO t CO	2 2 2 2 2
主な工場の排出量※ 「計	の等画期間温	① ② ③ ③ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	工場等の名称 本社工場 下庄工場	定事業者が定	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO t CO t CO	2 2 2 2 2
(原単位基	の等画期温	① ② ③ ③ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	工場等の名称 本社工場 下庄工場 玉島工場 欄には, 5 箇年度以内で特別	定事業者が定	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO t CO なめる期間を記入する。 原単位当たり排出量 基準年度 目標年度	2 2 2 2 2
主な工場の排出量 ※ 「計 (の削減した場	の等画期温準を	① ② ③ ③ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	工場等の名称 本社工場 下庄工場 玉島工場 欄には, 5 箇年度以内で特別 果ガスの排出量と密接な関係をも	定事業者が定	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO t CO なめる期間を記入する。	2 2 2 2 2
主な工場の排出量 ※ 「計 (原単位基標の削減目標	の等画期温準を	① ② ③ ③ 間」	工場等の名称 本社工場 下庄工場 玉島工場 欄には, 5 箇年度以内で特別 果ガスの排出量と密接な関係をも	定事業者が定	5,552 t CO 基準年度(平成 28 年度)の排出 4,724 t CO 71 t CO 5 t CO t CO なめる期間を記入する。 原単位当たり排出量 基準年度 目標年度	2 2 2 2 2 2 2 2

【目標削減率設定の基本的な考え方】

ベンチマーク

指標の状況

対象事業の名称

前計画の継続として、前計画の最終年度である平成28年度の実績値は、原単位評価で0.731tC02であり、削減目標を前年度比1%とすると、5年後の平成33年度では0.694tC02となる。 平成33年度の予定生産額8,000百万円で換算するとC02排出量は0.694×8,000=5,556tC02となる。

ベンチマーク指標

関連数値(平成

年度)

達成率(%)

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制
- ・IS014001環境マネジメントシステムの認証を取得しており、この活動により推進

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社工場	平成24年度 ・空調機を省エネタイプに更新 平成25年度 ・第2工場天井灯のLED化 ・管理棟照明のLED化 平成26年度 ・第3工場天井灯の2/3をLED化
	・低燃費車の導入(本社工場 1台) 平成27年度 ・第3工場天井灯の残り1/3をLED化 ・エアーコンプレッサを省エネタイプに更新
	・低燃費車の導入(本社工場 1台) 平成28年度 ・第3工場半分の空調機を省エネタイプに更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

	主成りるために美地りる指旦】
工場等の名称	措置内容
本社工場	・第3工場残り半分の空調機を省エネタイプに更新 (CO2削減量197t/年)
本社工場	・第1工場天井灯のLED化(CO2削減量135.05t/年)
全社	・空調設定温度の徹底及び確認の継続
全社	・不要時の照明消灯の徹底及び確認の継続
全社	・工場内のエアー漏れ削減
全社	・恒温室空調運転の改善
本社工場	・車両更新時に低燃費車を導入

	
【 <u> </u>	HA XH 3+ I中!
【森林保全等吸収源対策への	双油口 凹 1

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

7	その他特記事項】
ı	个(/)彻特記事坦】